

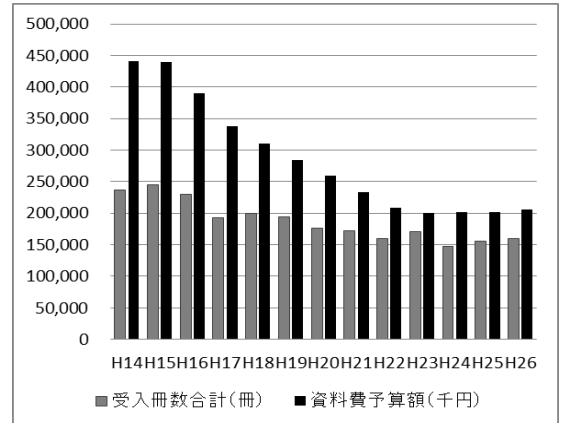
8 平成 26 年度 事業のまとめ

(1) 司書の専門性を発揮したサービスを進展させました

ア 蔵書再構成5か年計画の実施

横浜市立図書館蔵書5か年計画（平成27年度～31年度）の策定

「蔵書再構成5か年計画」（平成22～26年度）においては、調査研究用図書の新規収集や新しい資料収集方法の検討、地域情報の収集を積極的に行うことで、課題解決に資する蔵書の再構成が概ね達成できました。一方で、新しい情報媒体の検討や資料管理の課題解決への取組が充分ではありませんでした。これらの成果や反省をふまえ、継続的に蔵書の構築を行うため、社会動向の変化に伴う新たな課題への取組を盛り込んだ「横浜市立図書館蔵書5か年計画」を策定しました。これからも、市民の読書活動の支援を主体的に行う、地域の情報拠点としての図書館を目指します。



【受入冊数・資料費推移】(『横浜市の図書館』『日本の図書館 統計と名簿』より)

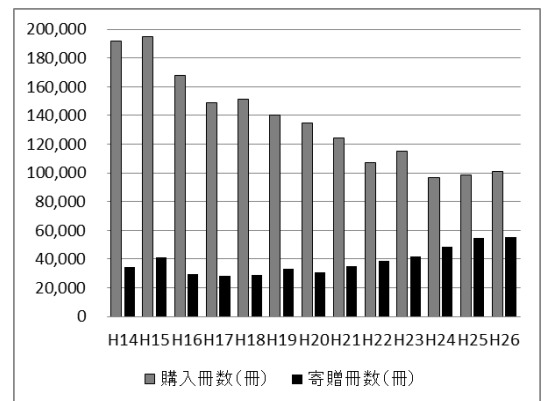
参考図書や需要の多い定番図書など市民の課題解決に役立つ資料を重点的に収集

「蔵書再構成5か年計画」に基づき、市立図書館全体の蔵書の見直し・補強の取組を推進しました。最終年度となる平成26年度も引き続き、地域の課題を考慮した目標に基づく年間資料収集計画を図書館ごとに作成し、計画に沿った収集を実施しました。

寄贈図書の受入れの強化

市立図書館では、財政状況の厳しい中、人気作家の小説や話題書、ロングセラーの児童書、郷土資料などの寄贈を募り、蔵書の充実に努めています。平成26年2月から12月まで「横浜市中心図書館開館20周年図書寄贈のお願い」として、中央図書館が寄贈を希望する図書リストを提示し募集キャンペーンを実施した結果、一般書62冊、児童書38冊で合計100冊の寄贈がありました。

また、横浜市職員に対しても図書寄贈の呼びかけを引き続き実施し、平成26年度は1,364冊の寄贈がありました。



【購入冊数・寄贈冊数推移】(『横浜市の図書館』より)

デジタルアーカイブ「都市横浜の記憶」の充実...

中央図書館では、貴重資料のデジタル化を継続的に進め、デジタルアーカイブ「都市横浜の記憶」での公開を推進しています。公開資料数は、画像データ10,733点(平成27年4月時点)。地域資料の目次や索引などのテキストデータも公開しています。平成26年度のアクセス数は364,717件でした(対前年度比120%)。国立国会図書館が提供する横断検索サービス「国立国会図書館サーチ」との連携のほか、新たに図書館ホームページのトップ画面で貴重資料のPRを実施するなど、より多くの方に「都市横浜の記憶」で公開している資料を閲覧する機会を提供しています。

イ 子どもの読書活動の支援

(ア) 「横浜市立図書館児童サービス5か年計画（平成27年度～平成31年度）」を策定しました

平成23年3月に策定した「横浜市立図書館児童サービス5か年計画」の具体的な取組について、達成状況を検証し、振り返りを行いました。その成果と課題を反映させるとともに、「横浜市民読書活動推進計画(平成26年度施行)」の重点目標の一つである「子どもの発達段階に応じた読書活動を推進」

するため、今後5年間の児童サービスの具体的な取組の計画を策定しました。

この計画に基づき、子どもの読書習慣の定着と読書意欲の向上を目指して、区役所や学校等と連携し、子どもが読書を身近に感じられるための取組を積極的に行っていきます。

(イ) 学校教育及び学校図書館への支援

市立図書館では、学校連携事業として、学校教育への協力と子どもに身近な学校図書館の充実への支援を行っています。平成25年10月から新たに配置が始まった学校司書に対して、学校図書館づくりや本の紹介の仕方などの研修や交流会を行いました。また、学校司書配置をきっかけに学校図書館を訪問し、学校図書館環境整備相談を行ったり司書教諭やボランティアへの支援を行いました。

【平成26年度学校連携事業 実績】〔()内は平成25年度実績〕

実施内容	延実施回数 (回)		延利用人数又は冊数	
調べ学習	24	(34)	411人	(331人)
図書館見学	299	(335)	9,790人	(11,137人)
読み聞かせ・ブックトーク	161	(187)	7,901人	(8,005人)
職業体験学習・職業インタビュー	330	(282)	1,284人	(1,117人)
教職員向け研修・レファレンス等	1,122	(397)	4,231人	(3,838人)
ボランティア向け研修・相談	120	(119)	1,669人	(1,858人)
教職員向け貸出	2,070	(1,636)	43,882冊	(41,054冊)
セット貸出	163	(179)	5,960冊	(6,540冊)

(ウ) 具体的な取組

おはなし会

家庭における読書活動を支援するために、おはなし会を通じた読書推進活動を行いました。乳幼児・未就学児・小学生向けにおはなし会を実施しました。おはなし会は、平日だけでなく、さらに親子で参加しやすい土日・祝休日にも実施しました。

また、大人にも読み聞かせの楽しさを感じていただくため大人向けおはなし会も10館で行いました(泉・磯子・神奈川・金沢・港北・都筑・鶴見・中・緑・山内)。

さらに、地域との連携を図り、保育所や子育て支援拠点などに出向いての出張おはなし会、乳児健診(主催:各区の福祉保健センターこども家庭支援課)などの待ち時間中の親子に向けた絵本の読み聞かせも7館で行いました(磯子・栄・都筑・鶴見・戸塚・緑・南)。

調べもの講座

子どもが自分自身で本や情報を探せるよう、図書館を活用した調べもの講座等を計62回実施しました。夏休みには、特に、調べ方を解説したパネルと調べものに役立つ資料の展示も行いました。

子どもが自ら調べる力をつけるための手助けとして、平成21年度からパスファインダー(調べものに使える本と調べ方の案内)「横浜探偵団」を発行しています。平成26年度は新たに2号を発行し、ホームページでの公開や館内での配布をしました。

また過去に発行された号の改訂も行いました。

【パスファインダー「横浜探偵団」(平成26年度発行分)】

■児童向けパスファインダー	第15弾 図書館で本をさがそう!
■ティーンズ向けパスファインダー	第7弾 西区いまむかし

(エ) 家庭・地域での子どもの読書の支援

家庭や地域における読書活動を支援するため、子どもを取り巻く大人に向けた読み聞かせ講座を計 87 回開催しました。ショッピングセンターで読み聞かせ講座を行ったほか、保育所、各区の子育て支援拠点・地域ケアプラザや地区センターなどの市民利用施設へ司書を講師として派遣し、市民に身近な場所での講座も開催しました。

【平成 26 年度読み聞かせ講座 対象別実施状況】[()内は平成 25 年度実績]

対象	回数(回)	参加人数(人)
読み聞かせボランティア	51 (42)	772 (817)
保護者・一般市民	33 (40)	749 (1,577)
保育士・子育て支援者・ 放課後児童クラブ指導者	3 (6)	114 (109)

(オ) ボランティアの養成・支援

地域や学校で実施する読み聞かせ・図書修理等の活動を支援するため、ボランティア向けの講座を実施しました。具体的には、絵本の読み聞かせ、図書修理などの講座を計 72 回実施しました。

また、地域で読書に関する活動を行うボランティアグループ向けの図書の貸出も行いました。

【平成 26 年度ボランティア向け講座 実施状況】[()内は平成 25 年度実績]

実施内容	回数(回)	参加人数(人)
読み聞かせ	51 (42)	772 (817)
図書修理	21 (17)	252 (227)
郷土資料・郷土作家	0 (3)	0 (55)

ウ 市民の学習活動・課題解決の支援

(ア) 市民の調査研究への支援

図書館では、市民の方が必要な図書や情報を探し出すお手伝い(レファレンス)を行っています。

ホームページ上にレファレンス検索コーナー新設

平成 26 年 12 月から図書館の蔵書検索ページに「レファレンス検索」の項目を新設しました。図書館に寄せられた多くの質問の中から、ほかの方が調べる際にも参考になりそうなレファレンス事例を登録し、質問と回答内容の全文を検索対象にしました。これにより、蔵書検索と同じようなキーワード検索で、豊富な事例と関連資料を市民に提供することができるようになりました。あわせてレファレンス申込のための専用フォームをホームページ上に設置し、利用の便を図っています。平成 26 年度末で 1,058 件登録しています。

国立国会図書館「レファレンス協同データベース」への事例提供

市民に提供する事例は、国立国会図書館「レファレンス協同データベース」(国立国会図書館が全国の公共図書館等と協同で構築しているデータベース)にも提供し、全国で活用されています。平成 26 年度は事例提供数が 222 点、アクセス数が 353,026 件でした。

ブックリスト等の発行

特定のテーマについて資料を紹介するブックリストや調べ方案内を発行し、市民の課題解決のための情報提供に努めています。平成 26 年度は、横浜市の施策や計画と連動した「第 2 期健康横浜 21」「はじめよう、b な暮らし～生物多様性を横浜で考える～」、市民向け講座のテーマに関連した「和歌について調べる」「食品表示を解読するためのブックガイド」など 14 件のリストを発行しました。

地域資料の展示

中央図書館では、横浜に関する貴重なコレクションを紹介する企画展を毎年開催しています。平成 26 年度は、「ペリー横浜上陸 160 年 絵地図で見る横浜の変遷」(8/1～9/15)、「横浜をつくった実業

家一高島嘉右衛門没後 100 年展一」（9/30～11/17）のほか、西区役所と連携して「西区制 70 周年記念～西区いま・むかし展」（11/2～11/30）を実施しました。企画展以外にも、月替わりで実施している地域資料ミニ展示を通じて、明治期の地図や横浜絵葉書などの資料を公開しました。

また、平成 24 年度から市内企業とのコラボレーション企画として実施している、当館所蔵の錦絵を活用したカレンダーの制作は 3 年目を迎え、貴重資料が多くの方の目に触れる機会を作ることができました。

医療・健康情報コーナーのリニューアル

近年の生活習慣病予防や健康への意識の高まりを受け、病気の治療だけでなく予防や健康の維持・増進に関する資料や情報の提供にも視点を広げ、中央図書館 4 階の「医療情報コーナー」を「医療・健康情報コーナー」と改め、リニューアルを行いました。

リニューアルでは、展示スペースを拡張して、新聞等で取り上げられた医療・健康関連のトピックを手がかりにテーマを決めて、企画展示を行い、最新の動向を踏まえた情報提供を強化しました。

また、コーナーにテーマカラーを設定し、関連資料の棚にも同色のサイン表示を行うことで、フロアに分散している医療・健康関連資料を視覚的に結び付ける工夫をしました。



中央図書館4階 医療・健康情報コーナー

（イ）行政への支援（庁内情報拠点化事業）

庁内の日常業務や新たな事業の企画立案等のために必要な調査、資料紹介、図書の貸出などを行いました。サービスの利用を促進するため、庁内情報拠点化事業活用研修の実施、庁内ネットワーク上での情報提供などを行いました。

このうち、庁内ネットワーク上では、ビジネス誌の最新号の特集記事の紹介のほか、「めざせ☆調査の星」と題したコラムを定期的に更新し、「図書館とのコラボレーション！～協力講演会・イベントのご紹介」「初めての庁内情報拠点化事業」「仕事で使おう！ビジネス雑誌」など、仕事に役立つ情報や、図書館活用法、調べ方のヒントを紹介しました。

【平成 26 年度庁内情報拠点化事業 利用実績】〔（ ）内は平成 25 年度実績〕

業務用資料貸出		レファレンス受付		ブックリスト作成	
対象局区数	利用実績(冊)	対象局区数	利用実績(件)	対象局区数	利用実績(件)
39 (43)	1,588 (1,834)	42 (44)	394 (281)	1 (3)	2 (4)

エ 地域情報の収集・提供の推進

（ア）地域情報の収集・提供の推進

図書館ごとに、地域の関係機関・団体との連携や企画事業の実施などを通して、地域資料の積極的な収集を推進しました。収集した資料は、図書館内に設置した地域情報コーナーでの情報提供や郷土写真展などの資料展示、ホームページでの公開といった形で、図書館から情報を発信しました。

（イ）企画事業を通じた課題解決支援～各図書館での取組～

各図書館では、地域のニーズに合わせて生活課題に関連する取組を行いました。介護に関する展示や講座（港北・都筑・緑・南・山内）、神奈川県行政書士会・神奈川県司法書士会の協力による、相続や成年後見についての講座（中央・旭・泉・港南・栄・瀬谷・鶴見・中）を実施しました。

また、就労を希望する女性を対象にした講座（戸塚・南）では、男女共同参画センターの協力を得ました。ほかに、自殺予防に関する展示や講座（港北・栄・戸塚）、禁煙や食育、健康に関する講座や展示（中央・磯子・港南・港北・都筑）も実施しました。このような事業により、身近な課題解決の場所として、図書館を認識してもらうことにつとめました。

(ウ) 地域情報のデジタル化の推進

瀬谷図書館は平成 26 年度に開館 30 周年を迎え、所蔵している写真等の展示を行う（1/14～2/2）と共に、新たに収集した写真をデジタル化して「瀬谷区風景写真データベース」を作成し、瀬谷図書館のホームページで公開しました。

このデータベースに収録されている画像データは、デジタルアーカイブ「都市横浜の記憶」でも公開しています。平成 26 年度には、瀬谷区のほかに神奈川区、港南区、南区など合計 186 点のデータを新規に登録しました。

オ 地域と連携した読書推進活動の充実

(ア) 地域の市民団体との連携・協働

図書館では、地域で活動するボランティア団体等と連携して読書活動を支援しています。地域のボランティアの抱える課題を共有し、課題解決に向けた話し合いの場として「ボランティア交流会」等を平成 26 年度は計 10 回開催しました。

また、地域の各種機関や団体等との連携を通じ、市民の身近な施設に出向く「出張おはなし会」及び「出張講習会」を行いました。出張おはなし会では、区のイベントなどに参加する回数が増えました。出張講習会では、読み聞かせ、図書修理以外に、地区センターの図書コーナーの環境整備などがありました。

【平成 26 年度出張おはなし会 実施状況】[()内は平成 25 年度実績]

場所	回数(回)	参加人数(人)	備考
保育所・子育て支援拠点	24 (21)	1,347 (762)	
区役所乳児健診会場	621 (647)	16,713 (16,555)	ボランティアによる実施も含む。
その他	55 (10)	2,163 (644)	市民図書室、小学校放課後教室等

【平成 26 年度出張講習会 実施状況】[()内は平成 25 年度実績]

内容	回数(回)	参加人数(人)	実施場所
読み聞かせ・わらべうた・ブックトーク	16 (31)	451 (1,408)	区役所、保育所、子育て支援拠点、地区センター等
図書修理	3 (5)	17 (58)	コミュニティハウス、幼稚園
その他(児童サービス等)	31 (3)	964 (34)	地区センター等

(イ) 他機関(大学・研究機関・行政機関など)との連携・協働

ヨコハマライブラリーカフェ・横浜市開催事業との連携

平成 26 年度に中央図書館では、庁内他部局、市内の大学や研究機関と協力し、ヨコハマライブラリーカフェを 13 回開催しました(平成 22～26 年度 累計 46 回開催)。そのほか、神奈川県行政書士会と連携し講座を開催しました。

また、環境月間に合わせた「生物多様性～生きものつながりを知ろう！伝えよう！」展示、本市イベント「ヨコハマトリエンナーレ 2014」関連展示、「横浜市がん撲滅対策推進条例」施行告知展示など、横浜市開催事業や施策と連携した展示を実施しました。

森の中のプレイパーク事業

子どもの調べ学習支援として、環境創造局みどりアップ推進課と共催で、森の中のプレイパーク事業を5館(神奈川・瀬谷・都筑・中・保土ケ谷)で実施しました。これは戸外での自然観察の後、図書館で調べ学習を行うものです。戸外では日本ネイチャーシェアリング協会の講師が、図書館での調べ学習では司書が、子どもたちにアドバイスを行いました。また「二十四節気パネル展」と題して市内の自然や行事をパネルで紹介した展示を7館で行いました(神奈川・金沢・港南・瀬谷・戸塚・中・保土ケ谷)。

「横浜シニア大学」※

横浜市老人クラブ連合会で開催する「横浜シニア大学」に講師を派遣しました。老人福祉センターなどを会場とし、各図書館がそれぞれの地域の高齢の方に、図書館の利用の仕方、活用法を紹介しました。

※市内の 60 歳以上の方を対象とした学習活動で、高齢者が地域の課題解決に積極的に参画するため、社会生活に必要な知識の習得や環境変化への社会適応能力の向上を図ることを目的としている。

図書館総合展フォーラム

第 16 回図書館総合展(於:パシフィコ横浜、主催:図書館総合展運営委員会)の関連企画として、「ICTを活かす学校図書館—可能性とつながる学校図書館へ」及び『働くこと』と『学ぶこと』の新しい関係づくり」を中央図書館ホールで開催しました(11/8)。学校教育関係者、図書館関係者、一般市民等、全国から約 150 人(バックヤードツアー含む)の参加がありました。

カ 多文化サービスの展開

国際都市横浜の形成と、多文化共生の地域づくり支援のために多文化サービスを推進しました。

具体的には、外国籍や外国につながりを持つ子どもたちが母語で楽しめるおはなし会(港北・南)や多文化理解をすすめるおはなし会(中央・金沢・港北・栄・都筑・鶴見・中・南・山内)、ブックトーク(中央・栄・中)のほか、外国につながりを持つ児童生徒向けのおはなし会(泉・鶴見)、多文化理解推進に関するワークショップや講演会(中央・泉・磯子・鶴見)、世界の国々を紹介する展示(中央・泉・金沢・港北・都筑・鶴見・中)を、市民や他機関との連携等によって実施しました。



「ブラジルとあそぼうinつるみとよかん」ちらし(鶴見図書館)

キ 市民協働の推進

図書館における市民参加の仕組みづくりをさらに進め、全館でボランティアが活動しています。おはなし会は、前年度に比べ活動延人数が大きく伸びました。ボランティアのみでのおはなし会も増えています。図書修理では、糸綴じなどの製本技術を身につけることにより、修理可能な資料が増えました。

また、それぞれの活動分野で初級講座、中級講座等を開催し、ボランティアのスキルアップを継続的に行い、読書活動の担い手を支援しました。

さらに、図書館の書架を整える書架整理ボランティアや屋上緑化の維持管理をする環境整備ボランティアを導入している館もあります。講演会などの自主企画事業に関わるボランティアも増えています。

また、平成 26 年度には、全 18 館で利用者懇談会等を計 57 回開催し、図書館の運営や企画事業などについて意見交換を行いました。

【平成 26 年度ボランティア活動実績】 [()内は平成 25 年度実績]

活動内容		活動館数(館)	活動延人数(人)	延件数または延日数	備考
おはなし会	司書との協働	13 (15)	859 (552)	378 件 (287 件)	おはなし会参加者総数 8,019 人(6,428 人)
	ボランティアのみ	15 (15)	2,725 (1,875)	744 件 (722 件)	12,998 人(11,898 人)
図書修理		13 (13)	4,520 (3,885)	995 日 (907 日)	総修理冊数 12,452 冊(10,674 冊)
書架整理		8 (8)	2,353 (2,760)	1,038 日(1,036 日)	
環境整備		1 (1)	430 (335)	279 日 (257 日)	(内容)生け花の展示、 庭の手入れ
自主企画事業		14 (10)	639 (518)	114 件 (86 件)	(内容)検索機講座、歴史 散策、各種講座等
その他		8 (4)	407 (172)	109 件 (31 件)	(内容)広報活動等

【平成 26 年度利用者懇談会等実施状況】〔()は平成 25 年度実績〕 ●懇談会設置前の事前準備のための開催を含む

図書館名	懇談会名称(設置年月)	開催回数(回)	図書館名	懇談会名称(設置年月)	開催回数(回)
中央	中央図書館読み聞かせボランティア懇談会(平成 21 年 4 月)等	7 (6)	金沢	金沢図書館懇談会(平成 23 年 1 月)等	2 (1)
鶴見	鶴見図書館利用者・団体懇談会(平成 23 年 2 月)	1 (1)	港北	「港北図書館友の会」と図書館との連絡会(平成 22 年 6 月)等	13 (13)
神奈川	神奈川図書館懇談会(平成 22 年 11 月)	2 (2)	緑	修理ボランティア交流会(平成 24 年 2 月)等	5 (4)
中	中図書館書架整理ボランティア懇談会(平成 23 年 7 月)等	1 (2)	山内	利用者フォーラム(平成 22 年 7 月)	2 (2)
南	南図書館を囲む会(平成 22 年 6 月)	2 (2)	都筑	都筑図書館から未来を描く協働の会(平成 24 年 12 月)	9 (10)
港南	港南図書館懇談会(平成 21 年 12 月)等	2 (1)	戸塚	戸塚図書館利用者懇談会(平成 22 年 3 月)等	1 (3)
保土ヶ谷	保土ヶ谷図書館懇談会(平成 23 年 2 月)	1 (1)	栄	栄図書館懇談会(平成 22 年 6 月)等	3 (1)
旭	旭図書館いきいきボランティア交流会(平成 23 年 5 月)	1 (1)	泉	いいとこづくり委員会(平成 22 年 6 月)	2 (2)
磯子	磯子図書館利用者懇談会(平成 22 年 10 月)	2 (2)	瀬谷	瀬谷区読書活動推進懇談会(平成 26 年 10 月)	1 (2)
				計	57 (56)

(2) 効率的で効果的な図書館の管理運営を推進します

ア 地域図書館の管理運営手法の総合的検討

これからの市立図書館には、市民自らが課題解決を図るために必要な資料の提供や、情報の提供・発信を通じた市民の読書活動推進の支援、また、区役所や学校を含む地域との連携の一層の強化など、「地域の情報拠点」として、司書の専門性を発揮した質の高い図書館サービスの提供が求められています。一方で、図書館経営については、厳しい財政状況を踏まえ、これまで以上の効率的な管理運営も不可欠です。

こうした課題に対して、平成 22 年度の山内図書館指定管理者制度導入や、平成 23 年度の都筑・戸塚両図書館の司書補助業務の委託化を進めてきましたが、特に、山内図書館指定管理者制度については、これまでの検証・評価を踏まえて、平成 26 年度に指定管理者制度の更新を行い、平成 27 年度からも、「サービス向上と管理運営の効率化」に向けて指定管理者制度の一層の活用を図ります。

指定管理者(山内図書館)における取組

平成 26 年 4 月の「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」施行にともない、青葉区では、区の地域性に応じて読書活動の推進を図るために「青葉区民読書活動推進目標」を策定しました。同目標に沿った取組を積極的に進めるとともに、指定管理者としての民間ノウハウを生かした取組を進め、指定管理者である有隣堂の書店ノウハウを活用した事業を展開しました。書店での開催が先行していた「ビブリオバトル」を図書館で 2 回開催しました。1 回目はワークショップ形式の参加型とし、2 回目はビブリオバトルと対談を組み合わせ、前半に「まち」をテーマとしたビブリオバトルを行い、後半に『未来の図書館、はじめませんか?』の刊行記念対談を行いました。ビブリオバトルには同書の著者や編集者がバトラーとして参加しました。

また、書店と出版社の連携を活かし、出版社に協力を仰ぎ「トリックアート」の展示及び絵本の表紙を利用した「エコバック」等の工作講座を開催しました。さらに、絵本「バムとケロ」シリーズの原画複製を出版社から借りて展示を行い、館内に設けた「山内堂」で関連グッズの販売を行いました。

青葉区の読書活動推進事業の一環としては、区との共催により、作家・柚木麻子氏のトークショーを開催しました。若年層を主な対象として企画し、出版社と書店の連携を活用して、作家への依頼にあたりました。

(次ページへ続く)

館の運営においては、人の配置を柔軟に行い、青葉区役所に出張登録窓口を設けました。区内に転入してくる人の図書館利用者登録に便宜をはかるとともに、図書館について周知することができました。青葉区区民交流センターまつりの際にも出張して図書館の相談窓口を設け、利用者登録を行いました。図書館内には、案内係を入口付近に配置しました。図書館が一番混雑する土曜・日曜・祝日の午後に配置し、窓口や書架案内をするとともに、検索機の使い方などについての説明を行いました。

また、独自サービスとして平成 25 年度に引き続き、区内で活動している保育団体に託児を依頼し、図書館内で有料の託児サービスを実施しました。子育て世代から好評を博しています。

イ 自主財源の確保及び経費の節減(広告事業及び節減)

平成 26 年度の図書館広告事業による歳入額は 4,282 千円、節減額は 1,627 千円でした。

また、図書館で必要とする資料のリストを作成して、新刊図書の新刊寄贈を積極的に呼びかけた結果、企業・団体等から 593 冊の図書の寄贈を受けることができました。

雑誌広告事業については、雑誌本体をご寄贈いただく「横浜市立図書館 雑誌スポンサー制度」として、新たに公募を行いました。平成 26 年度は、4 図書館において 8 誌を 6 企業から提供いただきました。

また、ホームページへのバナー広告の掲載、館内のパンフレットラック等の設置等、広告事業は一定の成果を得ています。広告事業等については、より効果的な媒体や手法も検討し、自主財源の確保と管理運営経費の節減に取り組んでいきます。

ウ 身近で便利な図書館サービスの充実について

平成 17 年 12 月に開始した図書の貸出・返却取次サービスを引き続き実施しています。平成 23 年 4 月からは、二俣川駅・東戸塚駅の行政サービスコーナー内の図書取次コーナーが横浜市の図書館情報システムとオンラインでつながり、貸出・返却の処理ができるようになっています。

また、平成 28 年 1 月から JR 港南台駅に近接する「港南台地区センター」において、オンラインでの図書取次サービスを実施する予定です。

【平成 26 年度利用実績】

区	場 所	実施内容	延利用数		
			利用者(人)	貸出(冊)	返却(冊)
旭	二俣川駅(相鉄線) 行政サービスコーナー	貸出・返却	41,812	64,892	102,520
戸塚	東戸塚駅(JR線) 行政サービスコーナー	貸出・返却	82,944	131,019	170,006
青葉	美しが丘西地区センター	貸出・返却	8,750	14,906	14,830
	大場みずが丘地区センター	貸出・返却	4,584	7,423	7,571
	奈良地区センター	貸出・返却	9,064	14,645	17,771
	藤が丘地区センター	貸出・返却	10,884	18,136	14,586
	若草台地区センター	貸出・返却	9,166	15,123	11,977
	田奈ステーション (区民交流センター内)	貸出・返却	7,899	12,781	12,066
	青葉台コミュニティハウス	貸出・返却	13,416	22,197	15,542
	市が尾駅(東急線) 青葉台駅(東急線) たまプラーザ駅(東急線)	返却ポスト			182,262
図書取次サービス事業総計			188,519	301,122	549,131

(3) 市民にとって利用しやすい快適な図書館づくりを進めます

ア 利用者の要望の把握(広聴事業)

平成 26 年度に「市民からの提案」などに寄せられた図書館に関する意見・提案は 184 件でした。主な内容は、件数の多い順に、図書館の運営に関すること (46 件)、図書館の施設管理に関すること(27 件)、蔵書などの資料に関すること(26 件)、図書の予約に関すること(25 件)、職員等の対応に関すること(24 件)となっています。

【平成 26 年度 市民からの提案】

項目	内容	件数	主な意見・要望等
図書館の施設管理に関すること	施設管理	27	駐車場・駐輪場、空調・冷暖房
図書館の運営に関すること	図書館建設・充実	15	図書館の新設
	行政サービスコーナー等連携	13	他施設との連携、駅などの返却ポスト
	開館日・開館時間	5	開館時間の延長、開館日の増加
	その他	13	指定管理者制度、他都市との連携
図書館サービスに関すること	予約	25	予約冊数、インターネット予約・検索
	貸出・返却	12	督促・延滞、貸出冊数、登録条件
蔵書に関すること	蔵書充実・資料収集	17	図書等の購入希望、選定基準
	資料管理・書架管理	6	資料の汚破損、配架の仕方
	その他	3	寄贈
職員に関すること	市民対応	24	職員の対応への苦情、お礼
その他		24	利用者マナー、コピー機
合 計		184	

イ 広報活動

ホームページとメールマガジンを主体として積極的に情報発信を行いました。10 月にはボランティア向けのメールマガジンを創刊し、図書館や地域で活動するボランティアの方のスキルアップのための講座のお知らせを毎月発信しました。

また、区と連携しての読書活動推進の取組や図書館での事業について、ミニコミ紙・ケーブルテレビ等、地域の方を対象とした広報媒体を中心に情報提供を行い、記事掲載数は大幅に増加しました。記者発表件数は 34 件 (平成 25 年度 32 件)、メディアで報道された件数は 1,163 件 (企画運営課確認分・平成 25 年度 1,007 件) でした。

【図書館ホームページ アクセス件数】 (件)

	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
図書館ホームページ ※蔵書検索ページアクセス数を除く	7,225,202	7,103,046	7,795,877
図書館蔵書検索ページ (※1)	32,914,395	31,580,374	19,732,518

※1 平成 24 年 12 月までは検索回数、平成 25 年 1 月以降は表示回数

【メールマガジン登録アドレス数】 (件)

平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
1,282	858	731

ウ 企画事業の実施

(主な事業の詳細は、「5 平成 26 年度利用統計(10)企画事業、その他の事業」(P. 22～P. 27 参照))

(ア) 統一キャンペーン

平成 26 年度も、全館で同時期に統一のテーマに沿って事業を実施する「統一キャンペーン」を、春・夏・秋の計3回実施しました。統一のイベントちらし・ポスターを作成したほか、記者発表を行い、幅広いメディアへの広報活動に努めました。

【平成 26 年度 統一キャンペーン一覧】

	春(こどもの読書週間)	夏(夏休み)		秋(読書週間)
実施期間	4/1～5/18	7/20～8/31		10/1～11/30
キャッチコピー	新しいこと、本と いっしょに。	いっしょによむと、 もったのしい。	答えはいつも本の中	やっぱり読書の秋
対象	・児童 ・乳幼児と保護者	・乳幼児と保護者	・小・中学生	・一般 ・児童 ・乳幼児と保護者

(イ) 周年記念事業

下記の4館で、周年記念事業を行いました。

館名	内容(タイトル・講師)	開催日	参加人数
中 (25 周年)	モックおたんじょうびおめでとう！モックのぬりえ	4/22～6/9	-
	中図書館開館 25 周年記念パネル展 「1989 年の横浜」	12/11～28	-
瀬谷 (30 周年)	親子で楽しむ瀬谷の歴史と民話	12/13	38 人
	横浜港の発展と瀬谷の人々 [講師:西川武臣氏]	1/31	85 人
	展示「懐かしの瀬谷風景写真展」	1/14～2/2	-
鶴見 (35 周年)	つるみ見どころ写しどころ～写真あれこれ～ [講師:若林のぶゆき氏]	10/15	28 人
	鶴見とブラジル、沖縄とのつながり [講師:橋本秀吉氏]	12/5	27 人
	鶴見の「教育力」 [講師:高橋伸和氏]	1/29	22 人
磯子 (40 周年)	デーケン氏講演会とアイルランド音楽のひととき [講師:アルフォンス・デーケン氏 守安功・雅子氏]	5/24	121 人
	講演とライブラリーフルートコンサート～音から描かれる物語～「月」	10/26	398 人
	展示「こどもの読書週間ポスター展」	4/17～5/15	-
	展示「暮らしの中に図書館を」	4/22～5/11	-
	展示「昭和の磯子展」	9/17～10/5	-
	展示「磯子出身ミュージシャンゆず関連の本と雑誌展示」	12/16～28	-
	展示「磯子区の小学生が描いた読書感想画 ～感じたよ こんなふう～」	1/15～2/12	--



←展示「1989 年の横浜」
(中図書館)



←講演会「つるみ
見どころ写しどころ
～写真あれこれ
～」(鶴見図書館)

→展示「懐かしの瀬谷風
景写真展」(瀬谷図書館)



→講演会「デーケン氏
講演会とアイルランド
音楽のひととき」(磯子
図書館)



(ウ) 複数館合同事業

作業を分担することにより効率的に事業を実施するとともに、事業効果を拡大することを目指して、合同事業を開催しました。

昨年度に引き続き、鉄道沿線につながり、横浜市の西部に位置する旭・泉・瀬谷・保土ヶ谷図書館の4館では、学校で活動する読み聞かせボランティアに向けた講座を行いました。また、講座で配布したブックリストを使用して、絵本などの巡回展示も行いました。

他に、温暖化対策統括本部提供の温暖化に関するタペストリーや、環境創造局提供の生物多様性に関するパネルを、複数の館で展示しました。

(エ) 地域図書館の特色ある事業

図書館では、区や地域の様々な施設等と連携し、図書館以外の場所でも活動を広げています。鶴見図書館では、区内の保育所で地域の親子を対象とした「保育所育児講座」を行い、絵本やわらべうたの紹介をしました。港北図書館でも、今年度から同様の事業を始め、平成 26 年度は6つの保育所を訪問しました。ほかにも、地区センターや地域ケアプラザでの出張講座、保育所職員への研修を行った図書館があります(旭・磯子・金沢・都筑・保土ヶ谷・緑)。

また、港北図書館では、子ども青少年局・港北区役所主催の「絵本と工作のワンダーランド パパとあそぼう」にブース出展し、出張貸出しを行いました。港南図書館では、港南区内の公園などで行われる「あそびにおいでよ！こどもフェスティバル」に参加し、絵本の読み聞かせなどを行いました。



「絵本と工作のワンダーランド パパとあそぼう」にブース出展したときの様子(港北図書館)



「あそびにおいでよ！こどもフェスティバル」に参加したときの様子(港南図書館)

(4) その他のトピックス

読書活動推進条例の施行と読書活動推進に関わる図書館の取組について

ア 各区の読書活動推進目標の策定

平成 26 年度は、「横浜市民読書活動推進計画」策定を受けて、各区それぞれが読書活動推進目標を策定し、各図書館で読書活動推進に関わる取組を行いました。金沢区ではキックオフイベントを開催、青葉・泉・港南・港北・都筑・鶴見・戸塚・緑の各区では区内の読書施設を一覧できるマップや表を作成し、図書館はそれに協力しました。

イ 横浜市読書活動推進ネットワークフォーラム「横浜読書百貨展」

11 月2日(日)には教育委員会主催でパシフィコ横浜会議センターを会場として、横浜市読書活動推進ネットワークフォーラム「横浜読書百貨展」



「横浜読書百貨展」わらべうた講座の様子

展」を開催しました。この事業は、民間企業や博物館等とも協力し、読書に関わるさまざまな立場の人を対象に、ステージではビブリオバトルや作家の山崎洋子さんによるミニ講演会、フロアでは地域で活動するボランティア団体や学校司書の活動パネル展示や大型絵本の読み聞かせ、ワークショップではわらべうた講座やブックトーク講座などを実施しました。約 3,600 人の入場者があり、さまざまな団体の交流や情報交換の場として賑わいました。



→会場入り口の様子
←ボランティア団体等の活動パネルの展示



ウ 「横浜市立図書館アクションプラン(第2期:平成 27 年度~31 年度)」の策定について

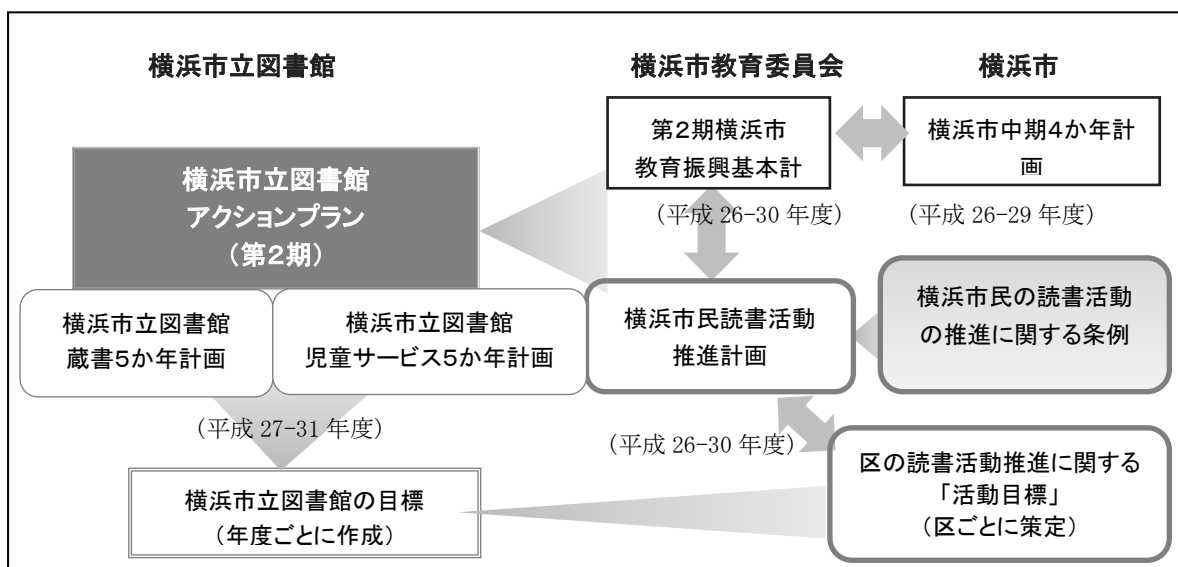
平成 27 年3月に「横浜市立図書館アクションプラン(第2期)」(以下「第2期プラン」という。)を策定しました。第2期プランでは、平成 26 年に策定された「横浜市民読書活動推進計画」及び「第2期横浜市教育振興基本計画」を踏まえて、今後5か年の取組を示しています。

第2期プランでは基本目標として「市民の読書活動を支える地域の情報拠点」を挙げ、学校・区役所・地域団体等と連携・協働し、地域全体で読書活動を推進することにより、より多くの人を読書に親しみ、読書を楽しむことができるよう取組を進めます。

また、重点項目として「市民の読書活動を支える図書館」「地域の情報拠点としての図書館」「誰もが利用しやすい図書館」の3つを挙げ、地域の読書環境の整備や市民の課題解決支援、地域特性を踏まえた効果的・効率的な図書館の管理運営とサービス向上のための環境整備の推進等を行います。

各図書館はこの第2期プランの進捗状況の管理のため、毎年「図書館の目標」を策定し、各施策の成果指標の達成に向けた取組を進めます。

【横浜市立図書館アクションプラン概念図】



横浜市立図書館アクションプランの位置づけ ※()は計画期間